



絵を見て、まちがいを10カ所見つけてね。正解者のうち、抽選で5人に図書カードをプレゼントします。



**応募方法**

はがきまたはファクスに①答え(どちらかの絵に○をつける)②住所③氏名(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥広報紙の感想、ご意見などを書いて秘書広報課(〒443-8601 FAX 66-1192)へ。当選者と答えは、広報がまごおり10月号に掲載します。

**締切** 8月14日(金)

**6月号当選者**

- 伊藤 美千代(八百富町)
  - 小笠原 夕基乃(清田町)
  - 佐藤 晴加 (拾石町)
  - 藤井 ひろみ (豊岡町)
  - 森 大巳 (大塚町)
- (50音順・敬称略)



画:とうふねこ座 市川雅子

**みかん♥おいしい**

楽しいみかんタイムに、犬と猫とみかん仙人がやって来ました。  
みかん仙人が自慢げに言いました。「どうじゃ、みかんは好きか?この犬と猫の名前もみかんじゃ」  
「ふーん、みかん大好きだよー、もぐもぐ」と、子どもたち  
「よしよし。それではこのみかん仙人が、温室みかんができるまでの話をしやろうかー」  
「はーい、もぐもぐ」と、子どもたちと犬と猫  
「蒲郡には、太陽が3つあると言われとる。①お日さま②海からの反射光③段々畑の石垣の照り返しじゃ。まあ、温室みかんにはあまり関係ないが、蒲郡みかんがおいしいと言われている理由じゃ。11月になると、みかんの温室の中を春~初夏の暖かさにするため夜間ボイラーをたく。おいしいみかんに育てるため温室の中の温度管理・水分管理が大変じゃ。12月になると、みかんの花が咲く。ついた実が自然に落ちる生理落果の後、人の手で実の数を調整するんじゃ。みかんの実が大きくなつて枝が垂れてくると、日当たりを良くするため枝吊りをする。実が成長すると水を控えてあまーいみかんにするのじゃ。」  
「もぐもぐ、だからこんなにおいしいんだねー」  
「わんわん」「にゃー」  
「おいおい、どんだけ食べるんじゃ!みかん」

**6月号の答え**

飛べ!手作りロケット!

